

国立大学法人高知大学の取組内容

1 計画期間

平成22年4月1日～平成27年3月31日(2期目)

2 行動計画の目標

- ①仕事と子育ての両立できる職場環境を整備するための取組を行う。
- ②育児支援制度の活用を推進する。
- ③育児休業取得者がスムーズに職場復帰できるよう育児休業期間中も学内の各種情報提供を行う。
- ④超過勤務の縮減の取組を行う。



3 取組の結果

- ①[使いやすい制度の改善]
男女共同参画推進のための専門委員会を平成22年度から組織し、職員の要望や課題の洗い出しを行った。その結果、推進機関として平成24年度、男女共同参画推進室を開設。当該推進室に仕事と子育て・介護の両立についての相談コーナーを設置。
[職員の意識改革]
平成26年度に育児と仕事の両立等について経営陣である理事と気軽に対話できる機会を設けた。
- ②高知大学の両立支援等の相談窓口や各種支援制度について平成24年度から男女共同参画推進室のHPを開設し紹介。また学内グループウェア等を活用して周知・啓発を行った。
(H25/3/4 開設～H27/1/19 新規・更新:平均 3.8 日 アクセス数 60,812 件)
- ③育児休業等利用中の職員を対象に平成24年度から「男女共同参画推進室メールマガジン」による学内の各種情報を月1回配信。希望者には学内誌の送付等行っている。
- ④超過勤務縮減のため、平成25年度から両立支援及び働き方改善を目的として発行している、ダイバーシティ・リーフレット「皿鉢力」において、各部署で設定している週1回のノー残業デーの周知を行った。

4 期間内の育児休業取得者数

男性 7人、女性 174人

○男性の育児休業取得者7名の平均取得期間は約4か月。最長で10か月の取得実績あり。

5 くるみんマーク認定を目指した理由

本学では「高知大学における男女共同参画の基本理念・基本方針」を定めて、男女共同参画を「大学で実践し、教育につなげ、そして社会に広げる」という基本的な考えのもと、男女双方にとって、学びやすく働きやすい場、個性と能力をよりいっそう発揮できる場を形成することに努めている。

そして、男女ともに仕事と子育ての両立できる職場環境を整備するために、くるみんマークの取得をひとつの目標として取り組むこととした。

6 男性の育児休業取得のために工夫した点

平成 24 年度に全教職員に配布する育児介護休暇制度を案内する冊子「仕事とプライベートのハーモニー」を作成するにあたり、4 か月の育児休業を取得した男性教員の体験記を盛り込んだ。また、ワーク・ライフ・バランス講座を開講し、男性の子育てについて職場で考える機会を設けるなど取り組んでいる。

平成 24 年度から育児や介護等と仕事の両立についての相談コーナーを設け、教職員から具体的な相談の受付を行っている。